

平成 28 年度 第 2 回学校関係者評価委員会議事録

日 時：平成 28 年 10 月 20 日（木）14:30～16:00

場 所：名古屋芸術大学保育専門学校 本館 2 階会議室

出席者：川杉省三（本校同窓会副会長）、武石協子（たきこ幼児園長）

日比勇三（本校後援会長）、土岐純子（地域代表 滝子幼稚園前愛園会長）

藤澤卓美（本校校長）、畔柳守男（本校副校長）

立野好秋（滝子キャンパス事務長）

1. 開会のあいさつ(校長)…資料 1、資料 1-2

- ・資料に沿い本年度の募集状況の説明。指定校、AO、学校推薦ともに受験者は昨年度より増えている。HPやパンフレット等を改善してきた成果と思われる。
- ・前期授業評価の説明。平均して 5 段階評定で、ほぼ 4.5 である。

2. 議事録確認…第 1 回学校関係者評価委員会議事録

3. 協議

(1)「本校の教育についての全体の感想」「改善に向けての提案」

…学校関係者評価委員、教育課程編成委員、各委員からの意見紹介…資料 2

資料に沿って各委員からの意見紹介。資料の補足説明。

- ・プレ実習において、実習生は、練習しよう、年齢にあったものを提供しようという伸びようとする姿が見られる。
- ・1 年前期で幼稚園 4 日間、保育園 4 日間のプレ実習をしている。学生は保育現場に出たくてしかたがない様子である。現場に出ることは授業への動機づけになる。
- ・本校、滝子幼稚園、たきこ幼児園の知名度が低い。受験生を増やし入学倍率を上げることで学校評価は上がる。数字を上げ、数字の強みにより学校の社会的評価が上がり、それにつられて内実も向上する。
- ・学生の意識づけにはカリキュラム、やり方を考えていく必要がある。
土曜日や日曜日に外部講師を招き研修会等の開催をしてはどうか。
先生方のインパクトが弱い。後援会やテレビ等でもっと外に出て学校をアピールする。
幼稚園、保育園、専門学校が一体となって実践的教育を行っていけば良い学校になる。
- ・通常の実習では、3～4 日目までは自分の力が発揮できない。プレ実習の意義は大きい。

(2)「本校の目指すべき卒業時の生徒像」「本校の価値」について

…教員(専任、非常勤)、たきこ幼児園職員、滝子幼稚園職員の意見…資料 3

(3)平成 28 年度事業計画中間報告…資料 4

資料 3 に沿って、現在取り組んでいる改革の経過説明。質問は特になし。

資料 4 に沿って、本年度事業計画の進捗状況説明。質問は特になし。

*説明終了後、川杉委員は所要により退席。

4. 授業参観

4 限目授業、1 年生「図画工作Ⅰ」・「体育実技」、2 年生「相談援助」・「音楽Ⅱ」を参観。

(1) 授業参観の感想

- ・どの教室からも、保育園と幼稚園からの声が聞こえ、恵まれた環境だと感じた。
- ・授業は1年生、2年生ともに、わきあいあいとした雰囲気であると感じた。
- ・幼稚園で過ごした印象では、音楽より造形の方に力を入れているように思っていたので、音楽室の設備を見て、これだけしっかり学んでいるとよく分かった。
- ・私が在学していた頃に比べると、教育の環境も改善され充実してきていると感じる。また、それぞれの授業には文科省より出された教育課程にのっとって実践されていると思う。今後の幼稚園、保育所、認定子ども園の保育、教育要領改訂に向けて新たな実践を通じた授業を進めていっていただけることと思う。
- ・体育、造形などの実技的な授業は学生が生き生きとして楽しんでいる。いずれの授業もチームで分担して行うことを楽しむ。現場に出た時、こういった活動を行いたくなる環境を作り、楽しい気持ちを子ども達に伝えられる保育者になってほしい。
- ・ピアノは目標があり、クリアしていく意欲があれば、十分に卒業に値するレベルまで達成できる環境にある。弾けるようになりたい！と思うキッカケを作る授業も必要かと思う。

参考：＜配付資料一覧＞

資料1 募集状況

資料2 本校への意見リスト

資料3 めざす姿、価値

資料4 事業計画中間報告